

# 平成 29 年度第 2 回 成田市まち・ひと・しごと創生推進会議会議録

## 1 開催日時

平成 30 年 1 月 30 日（火） 午後 1 時 30 分～2 時 30 分

## 2 開催場所

成田市花崎町 760 番地  
成田市役所本庁舎 6 階 中会議室

## 3 出席者

(委員)

関根座長、宇野澤副座長、小川委員、相馬代理、白井代理、佐藤委員  
木戸委員、大橋委員、宮崎委員、吉高委員、肥田委員、深堀委員

(事務局)

企画政策部 宮田部長  
企画政策課 米本課長、西宮課長補佐、平野係長、長野副主査、青菜主任主事

## 4 議事（要旨）

### (1) 総合戦略の見直しについて

- ・「成田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る主要事業の追加・修正や数値目標・KPI の変更など見直し内容について説明を行った。

### (2) 地方創生に関する市の取組について

- ・「イオンとの連携協定」に関する取組及び「マイキープラットフォーム」に関する取組について報告を行った。

## 5 質疑等

### 議題（1）

□KPI や数値目標のうち、すでに目標を達成している指標で今回修正しないもの、また、目標値までの差が大きい指標について、どのように考えているのか。

→平成 28 年度の時点で目標値を上回っている指標で、今回上方修正しない指標については、毎年度数値が変動する可能性がある指標であるため、毎年、設定している目標値を上回るよう努めていく。

また、目標値に届かない指標については、新たな取組なども実施しながら数値の上昇を目指していく。

□新たに総合戦略に盛り込まれた事業や修正された事業の他の事業についても、見直しに係る議論はされたのか。

→今回、総合戦略で追加となった事業や見直しとなった事業については、全ての事業を対象とする実施計画のローリング作業において新規事業として認められた事業や、拡大することとなった事業などの中から、本市の地方創生に資すると考えられる事業を盛り込んでいる。

□目標値から遠ざかっている指標についてはどのように考えているか。

→大きく下がっているイベント関係など、天候などの諸条件に左右される指標もある。新たな取組なども行いながら、少しずつでも目標値に近づけるよう事業を推進していく。

## 議題（２）

□「めいぶつチョイス」の参加自治体は。

→現在、すでに 20 弱の自治体が「めいぶつチョイス」のサイトを開設している。サイトを運営しているトラストバンク社によると、4 月には約 70 自治体になるとのことであった。

□成田市は、ふるさと納税の関係で入ってくる寄付金と市民の他自治体への寄付金による税額控除を比べるとどちらが多いのか。

→約 7,600 万円が流出している。

□自治体ポイントの財源は。

→自治体ポイントは、各種クレジットカード会社のポイントや、航空会社のマイレージなどの個人が所有するポイントを合算して、利用するものであるため、財源は各企業から自治体に振り込まれることになり、市の持ち出しは発生しない。

## 6 意見交換

□平成 29 年の住民基本台帳人口移動報告書によると、成田市は転入と転出を比べると転出の方が多かったという資料が出ているが、市が出している毎月常駐人口調査では、平成 29 年は転入の方が多いという結果が出ている。どちらも同じ住民基本台帳を基にした資料だがどちらが正しいのか。

→国が出している住民基本台帳人口移動報告書については、日本人だけを対象とした報告書であり、市が出している毎月常駐人口調査については、外国人の転出入も加えた数値となっている。

□平成 30 年 4 月から、ハローワークの中に福祉・建設・警備などの「人手不足分野」と呼ばれる分野を総合的に支援する窓口を新たに作るための準備を進めている。  
また、最近が高齢者の登録も増えているため、「生涯現役支援窓口」を設置し、高齢者のマッチング支援を強化している。

以上